

2013年
No.69

国際こだいら



KODAIRA INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION

- インタビュー：メキシコ合衆国
 - イスラム文化とバングラデシュ人の私
 - 災害時語学ボランティア協定
- 他、協会のイベントなどをお知らせしています



ピサンキについて説明するテチャーナさん

こだいら国際交流芸術展

18回目となる今回は、中国・韓国・ロシア・イランなど12カ国24名の方が出展しました。書画、油絵、写真、漫画、手工芸品などその数160点余り。個性的な力作ぞろいです。

最終日の交流会では出展者が作品の説明をしました。初出展で関心を集めたのは、ウクライナのピサンキという伝統工芸品です。卵の殻にろうけつ染めで細かい模様が描かれたも

12月18日(火)～23日(日) ルネこだいら展示室

ので、模様には意味があることなどを作者のテチャーナ・ソロツカさんが説明してくれました。

今回の作品の一部は、出展者の協力により東日本大震災復興支援のためチャリティー販売され、32,150円を日本赤十字社に寄付しました。ご協力ありがとうございました。



餅つき交流 パーティー

1月12日(土)

留学生と市民が餅つきをしながら気軽に交流するパーティーが、一橋大学内の国際交流プラザ玄関前で開かれました。杵と臼を使った本格的な餅つきです。まずはたきぎを使い、せいろうのもち米を蒸す作業に、留学生や子ども達は不思議そうに見入っていました。蒸されたもち米をついていくと、だんだん粘りが出て来て餅らしくなって、「なるほど!」。餅つきは子ども達から順番に、留学生も進んで体験しました。つきたてのお餅は小豆あん、大根おろし、きなこにのり巻きとなりました。

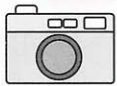
ドイツ人男子留学生は「餅は甘いものと思っていたので大根おろしは変な感じ、でも全部食べたよ!」と流ちょうな日本

語で話してくれました。インドネシアとマレーシアの女子留学生は「小豆あんが一番、大根おろしは苦手」とのことでした。

かまどではそのあと大きな鍋でけんちん汁が作られ、参加者は何杯もおかわりしていました。留学生は書き初めなども楽しみ、日本の正月を存分に満喫できたことでしょう。



KIFA 写真館



3月2日 ひな祭りのつどい
パキスタンの女の子も一緒にお祝いました



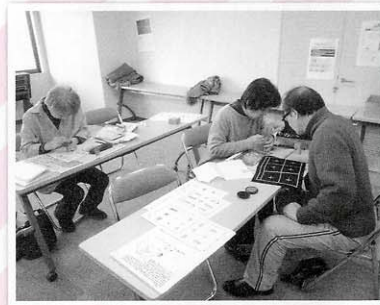
茶道入門



2月3日 こだいら市民駅伝
走って寒さをふきとばしました



2月17日 都内バスツアー



篆刻入門

漢語交流学習班 餃子パーティー



12月21日(金)

月1回行われている自由交流会ですが、今回は特別に餃子パーティーということでおじゃましました。集まったのは中国人4名、韓国人1名、日本人6名で、まずは餃子作りです。学習班の李(リー)先生とKIFA日本語教室生徒さんの賈(ジャー)さんが教えてくれますが、日本人は麺棒で皮を伸ばすのにひと苦労です。出来た餃子は鍋で茹で、水餃子になりました。

テーブルに餃子の皿やサラダ、デザートなどが並び、交流会が始まりました。餃子は皮がモチモチして美味しいとみな笑顔です。

中国では家族みんなで餃子を作って楽しむ家庭もあるそうで、そんな習慣について聞いたり自己紹介から話が弾んだりして、にぎやかな会になりました。



インタビュー “メキシコ合衆国”



メキシコ出身のルピータ・ロサレス・ペレスさんがインタビューに答えてくれました。ルピータさんは日本に来て18年だそうです。

●メキシコ人の気質は？

音楽やパーティーが大好きで、よく家でパーティーを開きます。近所の人に声をかけたり、通りがかりの人も飛び入りで参加して、サルサを踊ったりして楽しめます。特に女の子が15歳になると盛大なパーティーを開いてお祝いします。日本の成人式のようなものです。

●メキシコの代表的な料理は？

豆料理とタコスを中心に食べます。豆はマッシュポテトのように塩ゆでしてつぶしたもので、フリーホーレスといいます。タコスというのは、トウモロコシで作った薄いパンのトルティーヤに、その豆料理や牛肉などを挟んで食べるものです。ワカモレというアボカドをディップにしたのを添えたりします。日本でタコスとして売られているバリバリの皮は、トスターダと言っておつまみです。肉は豚や鶏も食べますが牛肉をよく食べます。



ルピータさんからお借りしたピラミッドの写真です

●日本での食生活は いかがですか？

日本に来たばかりの時は、白いご飯とすき焼きやしゃぶしゃぶくらいしか食べられませんでした。味噌汁や豆腐、刺身も苦手だったのですが、今はお刺身が大



メキシコ合衆国



好きです。メキシコでは脂身の少ないお肉をしっかりと焼いて食べるので、日本で中が赤い肉(レア)をみて驚きました。そして霜降り肉など脂身の多い肉が高いのにもびっくりしました。

●日本とメキシコの文化や習慣の違いは？

日本では贈り物をもったらお返しをするという習慣がありますが、メキシコにはないです。プレゼントは相手に何か良いことがあった時に、「おめでとう」という気持ちを込めてあげるものだと思います。

メキシコでは女性やお年寄りが重い荷物を持っているとすぐに誰かが助けてくれますが、日本ではそうではありませんね。私が街で大きな荷物を持ったおばあさんを助けようとしたら、びっくりして断られたことがありました。

日本の素晴らしいところは、安全でみんなが時間や約束を守るところです。役所で手続きなどする時もきちんとしていて公正ですが、メキシコではすごく時間がかかって大変です。

インタビューに朗らかに答えてくれたルピータさん。小学校でメキシコを紹介する出張講座をしたこともあるそうです。ご夫婦揃ってKIFAのイベントに参加して下さっています。これからもぜひ楽しんでください！



国際理解講座 2月10日(日)

「イスラム文化とバングラデシュ人の私」

中央公民館にて、電気通信大学に在学しているカン・MD・アンワルス・サラムさんにお話を聞きました。カンさんは本紙67号でのインタビューでも楽しいお話を下さった、イスラム教徒(ムスリム)です。

カンさんは、イスラム教について基本的な事を分かりやすく話してくれました。イスラム教というとラマダン(断食)など戒律の厳しい宗教のイメージがありますが、実際は“フレキシブル”で、環境や状況により柔軟に対応しているそうです。信心深いイスラム教徒は親切で優しい人たちで、テロを起す過激集団は本当のイスラム教徒ではないそうです。

カンさんの出身地ダッカでは、モスク(礼拝所)が日本のコンビニのようにたくさんあり、朝5時頃には祈りの開始時間を知らせる呼び声が放送されます。1日5回、コーラン(神の言葉)を唱えて祈ります。

出席者は予定数を大きく上回り、最後の30分は熱心な質疑応答が行われて終了時間を過ぎる程でした。わずか2時間

でしたが、イスラム文化の一端を理解するのにとても有意義な講座となりました。最後にカンさんが聞かせてくれたコーランは、穏やかで心地よく耳に響きました。



熱心に耳を傾ける参加者のみなさん

災害時の語学ボランティア協定締結

1月31日(木)

小平市とKIFAは、災害が起きた時に語学ボランティアが避難所などを巡回する協定を結びました。小平市に住む外国人は4,000人超で、災害時には多数の外国人が避難所生活をする見込まれます。今後災害が発生した場合、KIFAは小平市の要請により語学ボランティアを通訳や相談相手として避難所などへ派遣し、外国人を支援します。また他の団体と



連携し、語学ボランティアの割振りなどの調整も行います。

災害時は語学に限らず、さまざまな助けが必要です。ご協力いただける方はKIFAまでご連絡ください。

平成25年度は次のような事業を行います

I 国際理解及び国際親善の普及事業

国際子どもクラブ(2期2クラス)、日本語会話教室、英会話教室(レベル別クラス、シニア、トラベル、ビジネス、ジュニア)、外国語会話教室、国際交流芸術展

II 地域における友好交流事業

国際交流フェスティバル、餅つき交流パーティ、ホームビジット、バスハイク、市民スポーツまつり参加、市民駅伝大会参加、ひな祭り等

III 地域や日本文化並びに外国都市や外国文化の紹介事業

世界の料理紹介、世界の文化紹介(台湾茶、ピサンキ)、外国人のための華道入門

IV 国際交流情報の収集及び地域への提供事業

機関紙(年3回)・情報紙(年12回)の発行、情報提供コーナーの運営、学生スタンプラリーと商店街ツアー、電子情報の発信、ホームページ更新

V その他協会目的達成事業

ボランティア活動の推進(ボランティア連絡会の開催)、市民まつりパレード参加、新年交流会、協会のあり方検討

編集後記

昨年冬の芸術展をはじめ、さまざまな活動で盛り上がりながら、みなさんと寒い日々を乗り越えてきました。いつも暖かくKIFAを見守り、応援して下さっている地域の方々やボランティアのみなさんと一緒に、紙面が新しくなった「国際こだいら」でこれからも国際交流の輪を広げていきたいです!

(何佳美)

これからの行事予定

- ◎留学生商店街ツアー 4月13日(土)・10月19日(土)
- ◎国際子どもクラブ(前期) 5月11日~7月13日 土曜日(10回)
- ◎ピサンキ(エッグアート)講座 5月17日~6月21日 金曜日(6回)
- ◎台湾茶入門講座茶会 6月(予定)
- ◎世界の料理 6月(予定)
- ◎夏休み短期ジュニア英会話教室 7月下旬~8月上旬(予定)全5日
- ◎外国人対象防災体験学習ツアー(お台場) 5月(予定)
- ◎国際交流フェスティバル 9月29日(日) 福祉会館・市民ひろば

No.68 アンケート結果

前号のアンケートには多くの方にご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。(詳細はミニレター2月号にて報告) 記事の中では外国人インタビューやスタンプラリー、ホームビジットなど外国人に関するものが人気でした。たくさんの励ましのお言葉や頂いたご意見を参考に、今後もより良い紙面を作るよう努力してまいります。

平成25年度収支予算(平成25年4月1日~平成26年3月31日まで)

○収入の部(単位:千円)

科目	予算額
賛助会費収入	1,331
補助金収入(市補助金)	13,627
寄附金収入	1
積立金繰入	1,847
事業収入	9,288
雑収入(預金利息等)	5
前年度繰越金	10
収入合計	26,109

○支出の部(単位:千円)

科目	予算額
事業費	11,075
国際理解及び国際親善の普及事業	6,857
地域における友好交流事業	1,145
地域や日本文化並びに外国都市や外国文化の紹介事業	416
国際交流情報の収集及び地域への提供事業	2,092
その他協会目的達成事業	565
管理費(管理運営費)	13,881
補助金返還金支出	952
積立金	1
予備費	200
支出合計	26,109



発行日 平成25年4月1日
発行 小平市国際交流協会
編集 機関紙グループ
〒187-0045
小平市学園西町2-12-22
学園西町地域センター 3階
TEL. 042-342-4488
FAX. 042-347-3003